

子どもたちにプロの技術を伝授 福島ユナイテッドFCがサッカー教室を開催

福島ユナイテッドFCのアカデミースタッフによるサッカー教室が12月5日と14日に、国見小学校とくにみ幼稚園で開催されました。子どもたちは鬼ごっこで体を温めた後、ボールを上に投げてキャッチしたり、友だちをよけながらドリブルをしてサッカーの基本を学びました。

参加した子どもたちからは「時間が短い」「もっとサッカーをやりたい!」といった声が聞かれるなど大好評でした。



寒さに負けず元気にサッカーをする子どもたち

町の農業振興のために 町農業委員会が意見書を提出

国見町農業委員会（八島富一会長）は12月15日、「令和6年度農地等利用最適化推進施策の改善についての意見書」を引地真町長へ手渡しました。

この意見書は、町の農業振興を加速化させるため、新規就農者の確保・育成や農作業安全対策啓蒙と保険加入の支援策など、町農業委員会が協議し意見を集約した11の項目について取りまとめたものです。



意見書を手渡す八島会長（中央）と佐久間会長職務代理者（右）

クリスマスプレゼントをありがとう リトルオリーブこども基金が子どもクラブを訪問

リトルオリーブこども基金のクリスマス訪問が12月16日、子どもクラブで行われました。「リトルオリーブこども基金」は、被災地の子どもたちを支援する団体で、訪問は昨年引き続き行われました。絵本の読み聞かせや宝探しゲーム、クリスマスプレゼントの贈呈など、子どもたちの思い出に残るクリスマス会となりました。プレゼントは藤田保育所、くにみ幼稚園の子どもたち全員にも用意され、後日配布されました。



サンタさんからプレゼントを受け取る子どもたち

がんばる子どもたちを応援 国見町青少年育成町民会議奨励金交付

第51回福島県吹奏楽コンクールアンサンブルコンテストに出場する、県北中学校吹奏楽部の片平采さん、堀江咲羽さん、熊坂悠郁さんへ12月21日、菊地弘美教育長から奨励金が手渡されました。

奨励金を受け取った片平さんは「県大会では演奏を聞いた方々をとりこにできるような演奏をし、良い成績を収めてきます」と大会に向けて力強く意気込みを述べました。



県大会に出場する吹奏楽部の皆さん



奨励金を受け取った佐藤夏輝さん

全国で最高賞を受賞 国見町青少年育成町民会議奨励金交付

令和5年度明るい選挙啓発ポスターコンクールで、最高賞となる文部科学大臣・総務大臣賞を受賞した佐藤夏輝さんへ、11月27日に奨励金が交付されました。

福島県での最高賞の受賞は平成30年度以来5年ぶり。引地真町長から奨励金を受け取った佐藤さんは、「自分の思いや表現したいことを、相手に伝わるように絵を描くようにしている。これからも絵を描き続けていきたい」と話しました。



今年もおいしいバナナをありがとうございます

おいしいバナナをありがとう! 伊達果実が子どもたちにバナナをプレゼント

伊達果実農業協同組合（佐藤邦雄代表理事組合長）が11月28日、昨年に引き続き町内の保育所、幼稚園、小学校、中学校の子どもたち全員へバナナを贈りました。

藤田保育所では佐藤瑞来さん、遠藤礼唯さん、宍戸心奏さん、阿部未来さんがバナナを受け取りました。子どもたちは「大きいね」「バナナ大好き!」と目を輝かせ、贈られたバナナを手にとっていました。



1,000万人目の来場者となった工藤さん家族（中央）

来場者 1,000 万人突破 道の駅国見あつかしの郷で記念セレモニー

道の駅国見あつかしの郷が開業6年7か月で来場者1,000万人を突破し、12月2日に場内で記念セレモニーが行われました。記念すべき1,000万人目は、家族4人で来場した仙台市の工藤豪さん家族。鈴木亮一総支配人と佐藤克成副町長から、商品券と果物の詰め合わせが贈られました。工藤さんは「毎週のように子どもたちと楽しく遊び場を利用している。今後も継続して通いたい」と話しました。



引地町長へ目録を手渡す日本鳩レース協会の皆さん

町の発展に役立てて 日本鳩レース協会が寄付

町内で毎年レース鳩品評会を開催している、日本鳩レース協会東北南部ブロック連盟（大友勝好連盟長）は12月3日、町の発展や地域活性化等に役立ててほしいと町に3万円を寄付しました。

贈呈式では、同協会の和知幸男福島地区連盟長らが引地真町長に目録を手渡し、引地町長が「町のために有意義に使わせていただきます」と謝辞を述べました。